

2 秋田市で想定される地震の規模および被害の状況

(1) 想定される地震の規模

市防災計画では、県が実施した秋田県地震被害想定調査（平成25年8月）で検討された想定地震のうち、市域において最大震度6弱以上を示すものについて、被害想定結果を掲載しています。

なお、掲載されている想定地震とその規模等を表2-1に示します。

表2-1 市域における想定地震一覧

想定地震	地震規模 (マグニチュード)	最大震度	設定根拠
男鹿地震	7.0	6弱	過去に発生
天長地震	7.2	7	過去に発生
秋田仙北地震震源北方	7.2	6弱	県独自
北由利断層	7.3	7	国
秋田仙北地震	7.3	6弱	過去に発生
横手盆地 真昼山地連動	8.1	6弱	県独自
秋田仙北地震震源北方 秋田仙北地震連動	7.7	6強	県独自
天長地震 北由利断層連動	7.8	7	県独自
海域B（佐渡島北方沖、秋田県 沖、山形県沖を参考）	7.9	6弱	県独自
海域A（日本海中部を参考） + B連動	8.5	6強	県独自
海域B + C（新潟県北部沖、山 形県沖を参考）連動	8.3	6弱	県独自
海域A + B + C連動	8.7	6強	県独自

(2) 想定される被害の状況

市防災計画では、建物被害、地震動による人的被害、ライフライン被害等について、秋田県地震被害想定調査（平成25年8月）に基づく被害想定結果を掲載しています。

なお、表2-1における想定地震のうち、最大震度が7以上となる3つの地震に関する被害想定結果の抜粋を表2-2に示します。

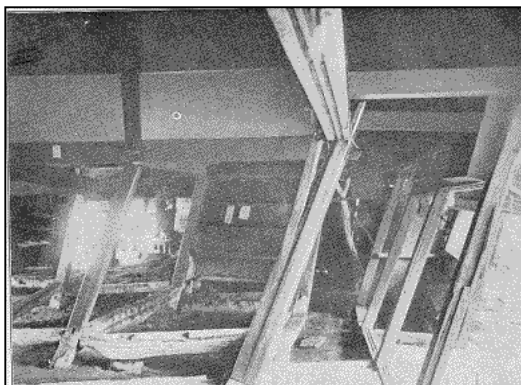
表 2 - 2 被害想定結果一覧

項 目		想定地震		天長地震	北由利断層	天長地震 北由利断層連動	
マグニチュード				7.2	7.3	7.8	
最大震度(秋田市)				7	7	7	
建物 被害	全壊棟数(棟)	夏		15,513	14,473	24,034	
		冬		16,679	15,535	25,874	
	半壊棟数(棟)	夏		27,330	28,120	33,495	
		冬		29,592	30,499	36,274	
	焼失棟数(棟)	夏の日中(10時)		38	36	165	
		冬の深夜(2時)		34	32	60	
冬の夕方(18時)		2,936	3,240	3,847			
地震 動に よる 人的 被害	死者数(人)	夏の日中(10時)		365	333	635	
		冬の深夜(2時)		893	812	1,502	
		冬の夕方(18時)		697	662	1,157	
	重傷者数(人)	夏の日中(10時)		553	503	985	
		冬の深夜(2時)		1,004	915	1,717	
		冬の夕方(18時)		764	705	1,325	
ライフ ライン 被害	上水道	断水人口(人)		174,389	177,371	210,790	
	下水道	支障人口(人)		19,016	20,177	27,841	
	都市ガス	供給支障人口(人)		207,217	209,402	213,133	
	LPガス	供給支障人口(人)		5,504	6,067	10,504	
	電力	停電世帯	夏の日中		98,229	98,356	107,301
			冬の深夜		99,284	99,665	107,938
			冬の夕方		99,284	99,665	107,938
	通信	固定電話 ・インターネット 不通回線 数(本)	夏の日中		2,782	2,600	4,533
			冬の深夜		2,978	2,778	4,743
冬の夕方			5,880	5,987	8,531		
避難 者数	夏の日中(10時)	4日後(人)		82,157	82,940	102,403	
	冬の深夜(2時)	4日後(人)		98,212	99,538	121,169	
	冬の夕方(18時)	4日後(人)		100,519	102,289	124,697	

(3) 地震災害に対する積雪の影響

多雪区域に指定されている本市においては、積雪が地震による建物・人的被害を拡大させ、応急対策の実施を阻害する要因となり得ることから、地震災害に対する積雪の影響を考慮する必要があります。

また、積雪期の地震は通常期の地震と全く異なる様相を呈し、被害の長期化や広範囲に及ぶ懸念があることから、積雪期の地震という最悪の事態を想定した地震対策を講じることが極めて重要です。



鏡味洋史氏「積雪期の地震災害と防災」強首地震より
(秋田市主催「積雪期の地震対策シンポジウム」より)

写真 2 - 1 過去の積雪時の地震災害